

重点施策マネジメントシート 令和5年度事後評価

重点施策	104	安心形成プロジェクト	主管課	S	目標値を達成(見込み)
基本目標	4	将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり	関係課	A	基準値より上昇(10%以上)
				B	基準値より上昇(10%未満)
				C	基準値と同水準(基準値と同値~△10%未満)
				D	基準値より下落(△10%以上)
				—	評価不能(KPIの実績値が無い状態)

(1) 施策の目標指標、KPI

① 目標指標	指標	基準値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	目標値 (~R6)
5	65歳以上の新規要介護認定者の平均年齢	男81.4歳 女83.7歳 (H29)	男80.7歳 女83.3歳	男79.2歳 女82.8歳	男82.9歳 女83.4歳	男80.7歳 女83.7歳		上昇
② KPI	重要業績評価指標(KPI)	基準値	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	目標値 (~R6)
10	多職種連携相談件数(重4、基25)	延べ2,764件 (H30)	延べ5,992件	延べ7,427件	延べ7,008件	延べ6,864件		延べ3,000件
11	老人クラブ会員数(重4、基26)	1,744人 (H30)	1,683人	1,597人	1,490人	1,389人		1,900人
12	自主防災組織の活動カバー率(重4、基27)	61.2% (H30)	61.5%	61.7%	61.7%	61.8%		83.2%

(2) 施策に関する検証

① 施策に位置付く事務事業の進捗状況		完了	0.0%		順調	8.3%		概ね順調	75.0%		停滞	16.7%		実施困難	0.0%
② 施策に位置付く事務事業の成果指標の推移(R4→R5)		向上	5.3%		好調維持	63.2%		伸び悩み	26.3%		低下	5.3%			

③ 目標指標	指標・関係課名	目標指標の実績値と状況の理由等
5	65歳以上の新規要介護認定者の平均年齢 高齢者福祉課	<b>【達成状況:C】</b> ・介護を必要としない自立した期間の指標として、65歳以上の新規要介護認定者の平均年齢については、男性は80.7歳、女性は83.7歳となっており、平成29年の現状値から、男性は0.7歳の下降、女性はほぼ横ばいで推移している。令和4年度と比較すると、男性は2.2歳の下降、女性は0.3歳の上昇となっている。主な理由としては、男性の要介護3以上認定者の平均年齢が下降しており、人数の割合も4割弱を占めていたことによる。男性については年度により変動が大きくなっている。
④ KPI	KPI・関係課名	KPIの実績値と状況の理由等
10	多職種連携相談件数(重4、基25) 高齢者福祉課	<b>【達成状況:S】</b> ・高齢化の進展、相談内容の複雑化等に伴い、困難案件が多く寄せられ、地域の多職種による連携・相談が増えてい。令和5年度に行った、基幹型地域包括支援センター、委託型の中央、東部、北部地域包括支援センターでの多職種連携による相談延べ件数は6,864件となっており、令和4年度実績よりやや減少しているものの、目標値を大幅に超えて達成している。これは各地域包括支援センターがより地域に定着したことにより、相談しやすい環境が整ったことと、相談窓口として関係者へ周知されたことが考えられる。
11	老人クラブ会員数(重4、基26) 社会福祉課	<b>【達成状況:D】</b> ・既存老人クラブへの新規加入者は増えているが、クラブ自体の解散や退会による会員数の減少により、全体として減少傾向にある。
12	自主防災組織の活動カバー率(重4、基27) 総務課	<b>【達成状況:B】</b> ・自主防災組織結成に関する問合せもあり、自主防災組織の必要性については認識されているが、実際に結成までには至っていない状況。

	関係課名	施策の推進に向けた問題等	令和6年度以降の方針
⑤ 施策 全体	高齢者福祉課	・多職種連携に関しては、すでに目標値を達成しているが、今後もマンパワーの確保、専門職のスキルアップ、他部署・関係機関とのネットワーク・顔の見える関係づくりが重要となる。	・地域包括ケアシステムの深化・推進のため、医療・介護関係者の連携会議や、スキルアップのための合同研修会等を開催し、地域の多職種連携ネットワーク構築を推進する。
	社会福祉課	・シルバー人材センターについては、会員数の伸び悩みや会員の高齢化、コロナ禍の影響による受託事業の受注件数の減といった課題がある。 ・老人クラブについては、既存老人クラブへの新規加入者は増えているが、クラブ自体の解散や退会による会員数の減少により、全体として減少傾向にある。	・シルバー人材センターでは、「経営改善計画」(計画期間:令和5年度から令和7年度までの3年間)を策定し、会員の増強や就業開拓の強化、安全・適正就業の推進などに取り組んでいる。 ・老人クラブ会員の高齢化や役職等のなり手不足のため解散となるケースが多いため、若手会員の勧誘活動を実施していく。
	総務課	・高齢化や人口流出で、地区のリーダー的存在を担う人材への負担も多くなってきている。そういった点からも組織結成まで結びついていない。	・防災資料館等で防災教育を実施するほか、区長会や出前講座で自助・共助の重要性を訴え、市民の防災意識の向上を図り、地域防災力の向上を目指す。
	企画政策課	・コミュニティバスの利用者は令和3年度に比べ増加となったが、令和5年度は令和4年度並みの利用者数維持。デマンド交通は順調に利用者数が増加している。	・地域公共交通計画等に基づき利用しやすく将来にわたり持続可能な事業を目指す。 ・令和6年度よりコミュニティバスのダイヤ及びルート変更を実施し、バス停留所の新規2か所(みらいあさひ(イオンタウン旭)、広原東)の追加。 ・デマンドタクシー台数の増車(3台→4台へ)。増車:医療施設(医師、歯科)エリアまたぎ
	建設課	・横根三川線は、道路整備をするうえで、必要な用地確保が難航している箇所がある。椎名内西足洗線は、終点側(西足洗地区)において、銚子連絡道と交差するため、道路線形を再度検討する必要がある。	・横根三川線は、道路用地を取得した箇所の工事を進め、避難機能を強化するとともに、未取得用地の交渉を継続し、早期の供用開始を目指していく。椎名内西足洗線は、千葉県及び関係機関との協議を継続し、早期な供用開始を目指していく。

推進委員会からの意見(要旨)	
<p>①65歳以上の新規要介護認定者の平均年齢について、男性の要介護の認定が多くなっているとあるが、退職した後に脳血管疾患や心疾患など男性で70歳くらいから介護を受ける方が多くなっている印象。</p> <p>②多職種相談件数について、相談できる場所が増えるとともに周知により、目標値を達成しているが、本当に解決が困難な方の事例の相談が増えている。相談件数が多いことを達成としているが、相談があるイコール困難な方が多いので、相談が多いことを良しとする評価は疑問がある。</p> <p>③介護は本当に必要になってから勉強をする方が多いため、対応する担当課は大変だと思う。旭中央病院でもリハビリや病気、感染症の勉強会を各介護施設に向けて発信しているが、このような取り組みが展開されていることが旭市のホームページでは周知されていない。また、RUN伴(らんととも)などの活動をしていることを市民の方に認知いただくと、認知症サポーターの評価も変わるのではないかと。</p> <p>④デマンドタクシーについて、周知が進んでいないようであれば、病院にポスターを貼ったらどうか。</p> <p>⑤デマンドタクシーについて、利用者が増えていることは望ましいと思うが、その裏側に利用したくても利用できない利用者がいるのではないかと。また、同時に運転手は休憩をとれるか心配である。</p> <p>⑥消防団員は大変なイメージがあり、なかなか入団いただけない。その中で、今年度より女性も加入し、産業まつりなどの参加を通じて何とか広げていきたいと思う。</p> <p>⑦自主防災組織について、毎年区長が変わってしまう区もあるのでなかなか広がっていかない。</p>	
推進委員会からの意見に対する担当課の考え	
<p>①旭市の死因別死亡状況(令和3年)では、心疾患、脳血管疾患はいずれも上位を占めています。いずれも生活習慣病の重症化が起因する疾患であり、高齢者の生活習慣病の重症化予防や、定期的な医療受診と内服、食事療法を含めた適切な健康管理が求められます。「通いの場」の立ち上げと運営支援、「介護予防講座」「介護予防・生活支援サービス事業の充実化」を進め、これらの事業により介護予防に取り組んでいきます。</p> <p>②多職種連携相談件数につきましては、一つの相談に対し複数の事業者で対応している件数となります。本当に解決が困難な方の事例の相談に対しまして、よりきめ細やかな支援体制をとるためには、多くの事業者の支援が必要となります。目標値は単に相談が多いから良しとしているのではなく、より多くの事業者が連携し問題解決に当たることを目指しています。今後、多職種連携による支援体制が整い定着しましたら、次に目標として何がふさわしいのか検討していきます。</p> <p>③介護が本当に必要になる前に、介護予防の知識や取り組みを多くの市民に知っていただくため、ホームページ等で周知に努めます。併せて認知症施策の推進の一環として、取り組み内容についてもホームページ等で周知に努めます。</p> <p>④デマンドタクシーは、区に加入いただいている方には冊子を配布しています。公共施設などでは設置していますが、病院でPRいただけるということであれば連携させていただきます。</p> <p>⑤デマンドタクシーは、予約が取れなかったケースはそれほどないと認識しています。また、事前に予約してもらいますので、運転手は昼休憩を取得できるよう働き方にも配慮しています。</p> <p>⑥女性消防団員活動によるイメージ改善や各種イベント等でのPR活動を推進することにより、消防団員のなり手不足解消を図っていきます。</p> <p>⑦毎年区長の皆様には周知を図り必要性は認識していただけるよう努めていますが、地域のリーダー的人材への負担が多くなっているため、新たな組織の立ち上げが難しい状況だと思われます。防災資料館や出前講座などを通じて防災意識の向上を図り、組織立ち上げに繋げていくとともに、違った形での共助の仕組みも検討していきます。</p>	

	事業コード・事業名称		単位	R2決算・	R3決算・	R4決算・	R5決算・	R6予算・					
				指標実績	指標実績	指標実績	指標実績	指標計画					
1	74400	地域包括支援センター運営事業	事業費	千円	45,167	78,680	80,117	78,234	85,461	事務事業の進捗(R5)	☺	概ね順調	
			一般財源	千円	4,056	12,385	9,538	7,010	9,732				
	成果指標	ア	地域包括支援センターによる総合相談件数	件	3,890	6,027	5,473	5,260	5,500	成果指標の推移(R4→R5)	ア	🍎	好調維持
		イ	地域包括支援ネットワーク構築のための連携会議の開催回数	回	40	46	71	92	95		イ	🍎	向上
2	74600	認知症施策の推進事業	事業費	千円	27	237	21	66	2,522	事務事業の進捗(R5)	☺	概ね順調	
			一般財源	千円	7	54	5	15	581				
	成果指標	ア	認知症支援に係る医療・介護連携数(市が介入した認知症オレンジ連携シートによる連携件数)	件	5	12	3	3	10	成果指標の推移(R4→R5)	ア	🍎	伸び悩み
		イ	認知症関連の会議開催・出席回数	件	5	7	9	10	10		イ	🍎	好調維持
3	74650	地域ケア会議推進事業	事業費	千円	8	51	43	89	223	事務事業の進捗(R5)	☺	概ね順調	
			一般財源	千円	1	11	10	21	51				
	成果指標	ア	地域ケア個別会議で検討した事例数(延べ)	人	14	63	71	66	70	成果指標の推移(R4→R5)	ア	🍎	好調維持
		イ								イ			
4	75320	認知症サポーター等養成事業	事業費	千円	56	39	33	63	156	事務事業の進捗(R5)	☺	概ね順調	
			一般財源	千円	12	8	8	3	36				
	成果指標	ア	高齢者に占める認知症サポーターの割合(認知症サポーター総数/65歳以上人口)	%	15.4	16.8	18.0	19.3	20.0	成果指標の推移(R4→R5)	ア	🍎	伸び悩み
		イ								イ			
5	75290	地域リハビリテーション活動支援事業	事業費	千円	3	5	294	172	545	事務事業の進捗(R5)	☺	概ね順調	
			一般財源	千円	1	1	0	39	126				
	成果指標	ア	通いの場の体力測定会参加人数	人	29	10	78	151	150	成果指標の推移(R4→R5)	ア	🍎	好調維持
		イ								イ			

		事業コード・事業名称		単位	R2決算・ 指標実績	R3決算・ 指標実績	R4決算・ 指標実績	R5決算・ 指標実績	R6予算・ 指標計画				
6	74500	生活支援体制整備事業		事業費	千円	1,804	3,900	2,017	2,533	5,789	事務事業の 進捗(R5)	😊	概ね順調
				一般財源		415	899	0	632	1,332			
	成果指標	ア	生活支援等サービスの数	個		30	31	30	36	40	成果指標 の推移 (R4→ R5)	😊	好調維持
		イ											
7	13000	老人クラブ活動促進事業		事業費	千円	4,386	4,190	3,705	3,857	4,211	事務事業の 進捗(R5)	😞	停滞
				一般財源		1,536	1,459	1,182	1,150	762			
	成果指標	ア	会員数	人		1,683	1,597	1,490	1,389	1,500	成果指標 の推移 (R4→ R5)	😞	低下
		イ											
8	13100	シルバー人材センター助成 事業		事業費	千円	6,416	6,900	6,900	6,900	6,900	事務事業の 進捗(R5)	😞	停滞
				一般財源		6,416	6,900	6,900	6,900	6,900			
	成果指標	ア	契約金額 (受託事業による収益)	千円		110,439	113,481	106,277	111,695	143,473	成果指標 の推移 (R4→ R5)	😊	伸び悩み
		イ	就業者数 (実際に就業機会を獲得した人数)	人		220	200	201	198	206		😊	伸び悩み
9	34000	防災体制強化事業		事業費	千円	9,866	11,069	12,465	11,034	16,077	事務事業の 進捗(R5)	😊	概ね順調
				一般財源		7,573	5,303	6,806	6,964	15,262			
	成果指標	ア	津波避難訓練の参加人数	人		0	0	846	653	1,000	成果指標 の推移 (R4→ R5)	😊	好調維持
		イ	自主防災組織の補助金利用団体数 (累計)	団体		6	6	6	5	8		😊	伸び悩み
10	30110①	震災復興・津波避難道路整備 事業(防災からの観点)		事業費	千円	235,547	374,329	150,702	82,611	190,689	事務事業の 進捗(R5)	😊	概ね順調
				一般財源		171,844	262,069	64,749	53,911	176,289			
	成果指標	ア	供用済延長(横根・三川線)	m		240	301	301	301	771	成果指標 の推移 (R4→ R5)	😊	好調維持
		イ	供用済延長(椎名内・西足洗線)	m		1,230	2,070	2,500	2,500	2,500		😊	好調維持
11	4600	コミュニティバス等運行事業		事業費	千円	47,391	50,344	55,232	55,873	65,019	事務事業の 進捗(R5)	😊	順調
				一般財源		47,175	43,668	50,043	48,905	56,035			
	成果指標	ア	年間利用者数	人		48,262	53,553	57,409	57,024	60,000	成果指標 の推移 (R4→ R5)	😊	好調維持
		イ	コミュニティバス平日1便当たりの利用 者数	人		5	5	5	5	6		😊	好調維持
12	4650	デマンド交通運行事業		事業費	千円	18,588	17,257	15,663	16,551	21,525	事務事業の 進捗(R5)	😊	概ね順調
				一般財源		18,588	13,657	12,263	13,001	16,725			
	成果指標	ア	年間利用者数	人		4,096	5,373	6,648	6,893	7,000	成果指標 の推移 (R4→ R5)	😊	好調維持
		イ	収支率	%		8.6	11.1	13.4	13.5	14.0		😊	好調維持